

地道に語り かける1年に

来年の統一選へ決意示す

議 員 渡 本 会 社 抱 負

と基本姿勢と強い信念

公明党の渡会克明県議が3日、東愛知新聞社を訪れ、「原点に戻って、有権者の間を地道に回り、語りかける1年にしたい」と新年の抱負を語った。

昨年の政権交代について「地方議員としては冷静に受け止め、仕切り直しに結び付けた」としながら、「現在の経済状況はいわば鳩山不況だ。民主政権には経済の成長戦略や緊急対策がない」と政権を批判。「デフレ問題に対する国民の心配を払しょくすることが大切だ」と強調した。

1年後の統一選に向けては「頑張らせてもらう考えだ」と決意を示し、「福祉や教育、平和の問題に地道に取り組み、地道に(県民に)語りかけていく」



を述べた。

(本多亮)

「初心に戻り、地道に語りかける1年にしたい」と決意を示す渡会氏(東愛知新聞社で

22日に新春公明党セミナー

豊橋、田原の5市議が年始あいさつ



年始あいさつに訪れた宮澤佐知子氏(右端)ら、豊橋、田原の公明党市議たち(東愛知新聞社で

宮澤佐知子公明党豊橋市議団長ら同党の豊橋、田原両市議5氏が2日、新年あいさつに東愛知新聞本社を訪れ、藤村圭吾社長と懇談。今月22日に豊橋商議所で第10回「新春公明党豊橋セミナー」を開くなど、今夏行われる参院選に向け、着々と準備を進めているとした。同セミナーでは、参院選に全国区から出馬して振り返りを狙う太田昭宏前代表ほか、荒木清寛、魚住裕一郎両

参議院議員が講師となり、党が掲げる景気対策など周知させる予定。本社で藤村社長は、

昨夏の衆院選を振り返り、「政権交代の4文字で国民は踊らされた形だったが、この夏に何とかしなければならぬのでは」と質問。これに対し宮澤団長は、民主政権による地方の混乱ぶりなどを例挙げながら「ちゃんとモノが言える人を参議院に送り込みたい」と、与党復帰に向けた意欲を語った。(藤田彰彦)